

会 議 録

会議の名称	平成 20 年度 第 4 回文化財審議会
開催日時	平成 21 年 3 月 9 日(火) 15 時 00 分～16 時 50 分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	渋谷一夫委員、関健二委員、木藤隆太郎委員、大澤綾委員、水宮恒委員、 山田友昭委員、 事務局（寺沢生涯学習課長、会田副課長、加藤主査）
欠席者	横山亮英委員
会議次第	<p>1．報告</p> <p>(1)生涯学習関係 5 委員合同研修会・交流会</p> <p>(2)人間東部地区文化財保護連絡協議会行事予定</p> <p>(3)資料館事業について</p> <p>(4)新河岸川広域景観プロジェクトについて</p> <p>(5)平成 20 年度実施の埋蔵文化財調査について</p> <p>(6)その他</p> <p>2．協議</p> <p>(1)文化財と周辺環境について</p> <p>(2)その他</p>
会議資料	平成 20 年度実施の埋蔵文化財調査について 緑地等の概況と文化財
公開・非公開	公開（傍聴人 0 人）
会議録確認	渋谷一夫委員

会議内容

あいさつ（議長）

1. 報告

(1)生涯学習関係5委員合同研修会・交流会報告

委員：年1回ではあるが、こうした交流会は大切である。それぞれの委員会に誰がいるのかわからない。違ったテーマの研修も参考になる。

委員：各委員会委員の名前と顔が一致しないが、こういう機会はよいことである。

委員：生涯学習というのは幅が広い。こういう機会はよいことである。

委員：5委員会になり、人数が増えるときめ細かい交流会はできなくなる。5つのうち1～2委員会の報告会のような発表の場を設けるのはどうだろうか。その方が内容が濃くなる。

(2)人間東部地区文化財保護連絡協議会行事予定

文化財行政研修について

(3)資料館事業について

難波田城資料館春季企画展について

(4)新河岸川広域景観プロジェクトについて

事務局：県（県土整備部）で実施しているものだが、3月7日のオープニングフォーラムは市内施設で開催されることと市のまちづくり推進課からの依頼もあったため、PRコーナーに市内の新河岸川に関連する文化財及び施設の展示活動を行った。

委員：これからの新河岸川を考える上でよい機会であった。部局の違いもあるが、文化財を絡めた進め方になればよいのではないかと。

委員：新河岸川については市内の身近なものしか知らなかったため、広域を扱っていたので他地域を知るよい機会となった。

委員：景観だけではなく、生活の場・子どもの遊び等として地域に残された文化がある。こうした位置づけも必要となってくると思う。

委員：昨年度に樋門2件を指定したが、こうした活動の中に組み入れてもらいたい。

(5)平成20年度実施の埋蔵文化財調査について

プロジェクトによる上映・説明

(6)その他

なし

2. 協議

(1)文化財と周辺環境について

事務局：今年度の協議内容である「文化財と周辺環境」について、文化財・景観・文化資源の掘り起こしが必要と思われる。

委員：どのようなものを想定しているのか。

事務局：過去に審議会からは「歴史と緑の散歩道」の作成・建議があり、これが入間東部地区文化財保護連絡協議会で作成した文化財マップに繋がっている。千葉県で作成したものが、ホームページ上で公開している。こうしたものもイメージとしては参考になる。

委員：報告でもあった新河岸川プロジェクトは、新河岸川を考えるよい機会である。これをさらに文化財を重ね合わせたようなものが理想だ。文化財を点ではなく、面で把えていきたい。

委員：本などの文字だけで知るのではなく、文化財の場合は現地に行って、現物を見るのがよいことであり、その魅力を引き出すものを作成したらよいのではないか。

委員：新河岸川の流れるふじみ野から富士見にかけては、いまだに新河岸川舟運に関わる大杉講の碑など文化財や屋号がそのままに使われていたり歴史がそのまま残されている。こうしたものを知ってもらうためには景観に関わるイベントに絡めて周知する機会を増やす必要がある。

委員：地域の産業とも結びつくようであれば、市民の理解が得られやすいものになる。

委員：叩き台としての資料が必要になる。

委員：市域全体でゾーニングするか、一地域を限定してモデルを作成するのか。

事務局：次回会議までに資料案を作成する。

(2)その他

委員：文化財保護側の市民として文化財審議会が、文化財活用側の市民として資料館で資料館友の会が活動しているが、両者が情報交換できる場が必要と思うが、市として支障があるか。

事務局：正式な形での会議形態はないが、情報交換として任意で実施するのであれば特に支障はない。

委員：横のつながりを強めるために必要ではないか。

委員：友の会会員も専門的で詳しい方もいる。我々も参考になることも多い。

委員：友の会は石造物の調査や文化財めぐりの案内も行い、指定文化財以外のものについても詳しく、話し合うことはよいのではないか。

委員：友の会の活動についてはどの程度把握しているのか。

事務局：一般会員のほか、拓本部会・土器づくり部会・木綿部会・ふるさと探訪部会等の部会ごとにも活動している。拓本部会では石造物調査、ふるさと探訪部会では坂道について等を調査してきている。

委員：公民館で活動している団体にも講師として手伝っている。

委員：文化財の活用を積極的に活動している団体でもあるので、当審議会として交流を深めていくこととし、今後検討していくこととする。

次回会議 6月9日(火) 午後3時～ (予定)

